

# あっちでもこっちでも未配置

## 7ヶ月・6ヶ月・4ヶ月来ていない 県の代替制度はすでに破綻

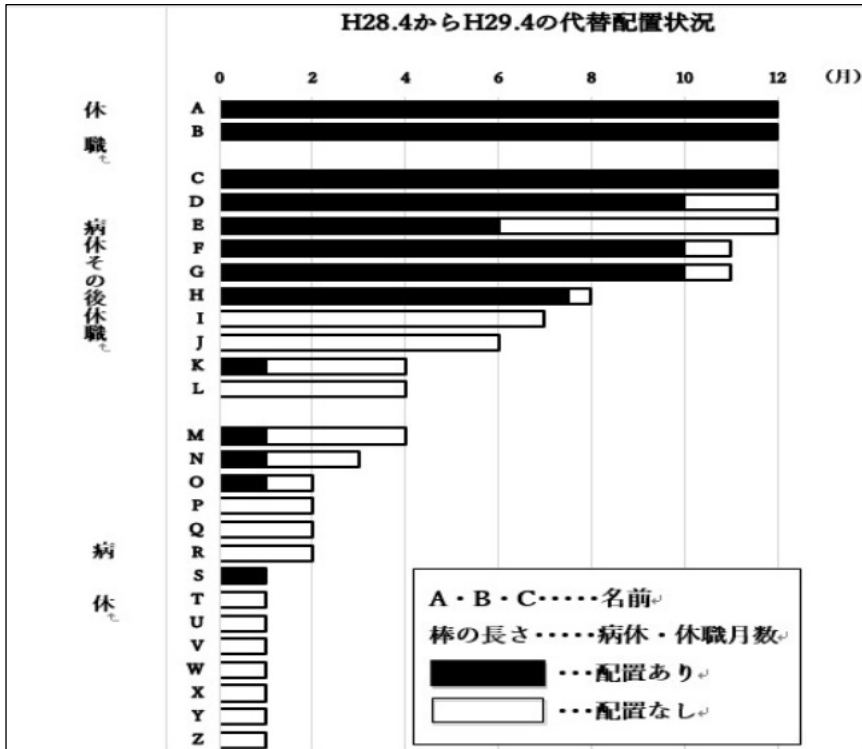
# 越教組ニュース

越谷市教職員組合  
情宣部  
18.05.30(火)  
Tel 988-3281  
Fax 988-3283

教員の働き方が話題になっています。学校現場で、働き方がしんどくなる最たるものは何でしょうか。未配置の問題は、現場に決定的な負担をもたらします。病休や休職のために代替者が必要な場合、本来県が責任を持って配置しなければならぬのですが、現状はご存じの通り未配置が多く、中には七ヶ月も放っておかれている学校も。この県の代替制度は、以前から問題がありましたが、ここに来て完全に破綻していると言っている状況になっています。早急に改善が求められています。

## 越谷市の未配置状況

左の表は、越谷市の代替の状況をまとめたものです。この一年間で代替が必要とされた病休・休職の方は二六人。そのうちフルで配置されたのは三件。後の二三件は期日通りに配置されていません。そのうち半分以上は結局配置なしで終わっています。ひどい場合は、七ヶ月配置なしという学校も。



<考察・コメント>

- ・休職に入ると代替が配置されるようになるようだ。
- ・しかし、I・J・Lの方は休職に入っているが、まだ配置されていない可能性が高い。
- ・病休では、ほとんど配置されない。1〜2ヶ月の配置はまず配置されない。
- ・上記のデータ以外に、代替が出ない「臨採者の病休が1人」「1ヶ月未満の病休の方が9人」いる。また、産休・育休については95%程度の配置率である。

この件を含め、六ヶ月、四ヶ月という学校は、現在でも配置されていない可能性があります。

## 市教委「登録者がいない」

市教委の回答です。人がいないんです。東部教育事務所に登録したり、越谷市教委に来て来てくださる方が圧倒的に少なく、たとえば小学校の免許状を持っている人はほとんどいません。中学校の免許状の方に臨時免許状で仕事をしてもらっています。

責任だが、このような未配置の状況は、現場に大きな負担をもたらすことになるし、ひいては児童生徒の学習権にも影響を及ぼすことになる」と、市教委に対して、期日通りの配置を繰り返して要求してきました。

登録された方に連絡をすると、「もう民間で決まったので辞退します」という方が多くなっています。県にきちんと探してもらおうようにするのは勿論、市教委としても、定年を迎えた方や大学の方にも声をかけて人材を発掘していきたいです。

中学校の場合、新年度に向けて登録者が一人もいない教科が複数あります。四月からもう配置できない状況なのです。

## 教育行政の責任として

確かに市教委の努力は分かれます。教育委員会の掲示板には、臨採者募集の貼り紙があり、必死になっている様子が伺えます。夜でも休日でも探し回ってくれている担当者の方には頭が下がります。しかし、これだけ努力してもらったから

「いい」ということにはなりません。期日通りに配置できたかどうか、結果がすべてです。そのことは市教委にも伝えました。教育行政に携わっている市教委には、現場に負担や混乱をもたらさないように、責任を果たしてもらいたい。代替が見つからなければ、教務が担任を掛け持ちしたり、

しかし、何と云っても、この代替制度の破綻を放置している県教委に責任があります。「いい」「努力している」と言うことは市町村教委と同じです。しかし、県には制度を設計する権限があるのです。

「いい」ということにはなりません。期日通りに配置できたかどうか、結果がすべてです。そのことは市教委にも伝えました。教育行政に携わっている市教委には、現場に負担や混乱をもたらさないように、責任を果たしてもらいたい。代替が見つからなければ、教務が担任を掛け持ちしたり、

少人数加配をはがして担任にしたりして対応する学校が多いのではないのでしょうか。所沢市や川越市などいくつかの市では、補充教職員制度というものを作っています。校長の要請のもと、出張や年休・〇〇休暇の補充などに各校に出向きます。普段は教育センターのようなところで事務的な仕事をしているようです。当然、病休代替や休職代替というわけにはいきませんが、つなぎとしては、このような制度も検討してはどうかと思えます。

組合は各地教委への申し入れとともに、県教組が県教委に申し入れを行っています。県教委がこの深刻な状況をいつまで放っておくのか、状況は待たないです。倫理を唱える県教委にこそ、範を示してほしいものです。